

民進代表選 蓮舫氏 VS 前原氏

保守系候補の一本化焦点

民進党代表選（9月2日告示・15日投票）は、前原誠司・元外相が出馬の意向を固めたことで、すでに出馬表明している蓮舫代表代行との選挙戦となることが確実となった。前原氏は今後、同じく保守系で出馬を模索する長島昭久・元防衛副大臣と保守系候補の一本化を図り、支持固めを進めたいと考えた。

△本文記事2面▽

選挙戦確実

前原氏は25日に自身のグループ（約25人）の会合を開いて出馬の意向を説明した上で、26日に記者会見する方向だ。

前原氏は早い段階で出馬への意欲を漏らしていたが、渡辺周、小川淳也両衆院議員ら側近の間に、「必ず勝てる状況でないなら出ない方がいい」との慎重論があり、出馬表明へのプレ―キとなっていた。このため、中間派の大島章宏・元国土交通相らのグループ（約15人）や旧維新の党グループ（23人）の取り込みを狙い、所属議員と会談を繰り返した。



前原氏
グループ 約25人

大島章宏
元国土交通相らの
グループ 約15人

旧維新の党
グループ 23人



出馬？

長島昭久
元防衛副大臣
グループ 約5人



野田前首相
グループ 約10人

岡田代表、安住淳
国会対策委員長ら
執行部メンバー

赤松広隆前衆院
副議長グループ
約20人

旧民社党系
グループ 約10人

細野豪志
元環境相
グループ
約15人

民進党代表選を巡る党内グループと幹部らの立ち位置

※同一議員が複数のグループを掛け持ちしているケースもある

には、旧維新の江田憲司代表代行と会談した。大島氏らのグループはこの日、前原氏に推薦人を出す方針を決めた。

また、前原氏は24日、東京都内で長島氏と会談し、「出馬の腹を決めたので、協力をお願いしたい」と自身の支援に回るよう要請した。長島氏は回答を保留したものの、出馬は困難になったとの見方が多い。ただ、長島氏周辺には、共産党との選挙協力に批判的だった前原氏が、リベラル系への支持拡大を狙い、政策の一致を条件に共闘を容認する姿勢を示すなど「軟化」の兆しもみせていることへの不満がある。前原氏は今後、保守系とリベラル系の間でバランスをとるのに苦しみそうだ。

一方、蓮舫氏については、岡田代表ら執行部メンバーの多くが支持する方向だ。このほか蓮舫氏が所属する野田前首相グループ（約10人）や赤松広隆・前衆院副議長グループ（約20人）のメンバーが選挙対策組織の中核になりそうだ。若手から待望論のあった玉木雄一郎衆院議員は、推薦人20人の確保が難航している。